



## energizeEASTSIDE

概要

Puget Sound Energy (PSE) は皆様の地域に電力を供給する会社です。Energize Eastsideはベルビューに新しい変電所を建設し、レドモンドからレントンまで新たな送電線を設置するプロジェクトです。

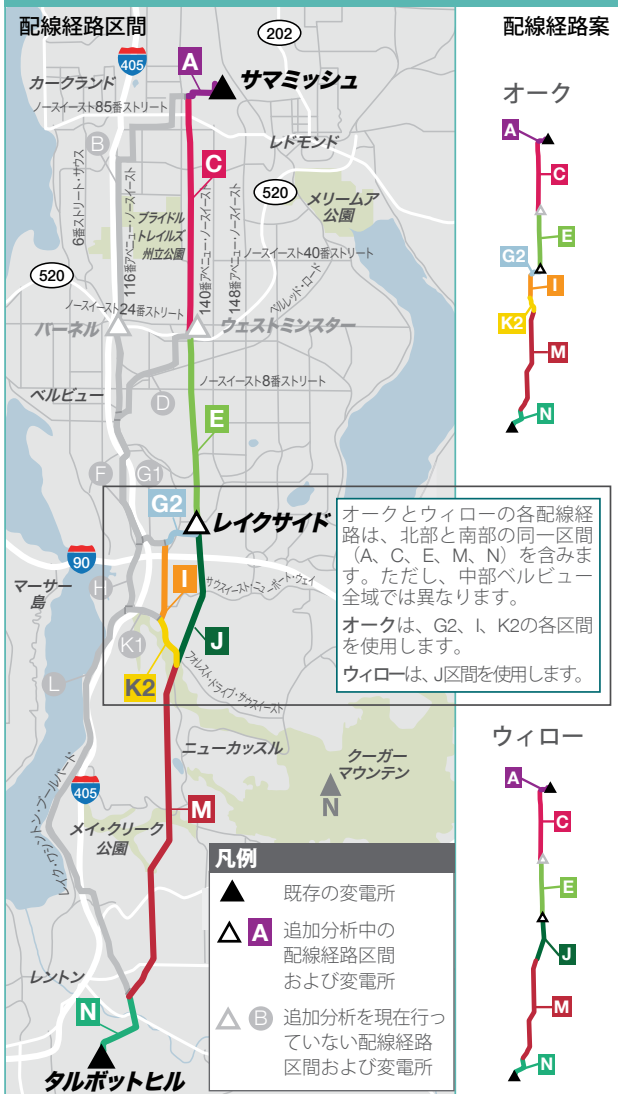
## Energize Eastsideが必要な理由は？

イーストサイドに居住・勤務する人の数は増え続けています。この人口の増加によって既存の電力系統に負担がかかっており、PSEが電力系統を改善しなければ、停電が発生する可能性が高まります。

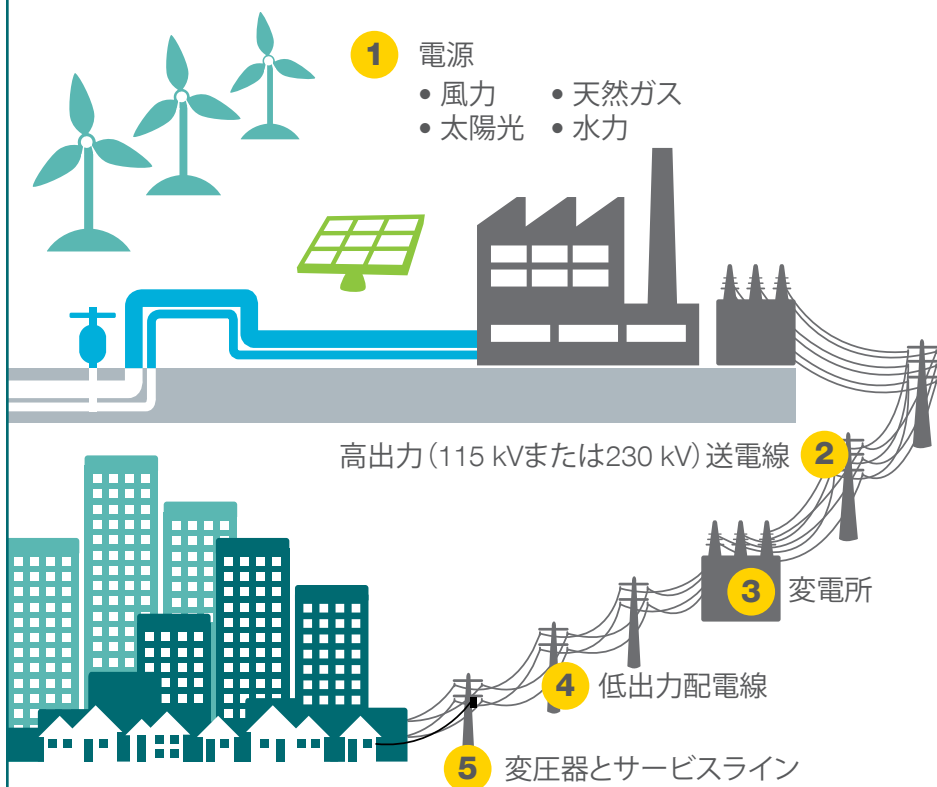
## Energize Eastsideをどこに建設するか？

PSEは現在、新しい送電線と変電所をどこに設置することができるか、様々な選択肢を検討しているところです。右側の地図は、現在検討中の配線経路地域または区間を示しています。新しい送電線は、新しい変電所と、レドモンドおよびレントンの既存の変電所を結ばなければなりません。

## 配線経路区間案と選択枝



## 電力が私たちに届くまで



## Energize Eastsideは何を行うのか？

PSEはイーストサイドに安定した電力の供給を保証するために、いくつかの選択肢を検討した結果、問題を解決するための唯一の方法は、積極的な保全目標の達成を維持し、新しい変電所と送電線を設置することでした。送電線は電力を場所から場所へと送ることができる高い柱に設置された電線の集まりです。この新しい送電線はベルビュー、カークランド、ニューカッスル、レッドモンド、およびレントン市にさらなる電力を供給します。

Energize Eastsideに関心をお寄せいただき、ありがとうございます。



[pse.com/energizeeastside](https://pse.com/energizeeastside)



1-800-548-2614



[energizeeastside@pse.com](mailto:energizeeastside@pse.com)



Puget Sound Energy  
P.O. Box 97034, EST03W  
Bellevue, WA 98009-9734



## energizeEASTSIDE

### 概要書

## プロジェクト

Energize Eastsideプロジェクトは、イーストサイドにおける家庭と企業にエネルギーを供給するための、新たな変電所と大容量送電線を設置するものです。この取り組みにより、既存の送電システムを改善し、イーストサイド地域全体に、将来長期にわたり、より安定した電力を供給いたします。

これらは近隣で目にする、ご家庭に電力を供給する配電線ではありません。これらは送電線で、送電線は配電線よりも容量が大きく、市内全体を賄うのに十分な電力を送るためのものです。

## 既存の送電システムでは、成長を続けるこの地域への対応が困難に

現在、レントンからレッドモンドまで、至る所で建設が行われ、交通渋滞が深刻化しているのを目にされていることでしょう。イーストサイドはワシントン州のどの地域よりも、急速な発展を遂げています。数々の世界的な企業がイーストサイドで事業を展開し、それにより雇用は拡大しています。しかしながら、この幸運によって地域の既存の電力システムにより重く負担がのしかかっていることも事実です。地域発展に関する調査によれば、安定した電力への需要は、早くも2017～2018年の冬には既存の容量を超えると予測されています。

これによって停電が発生するわけではありませんが、電力インフラの大幅な改善と節電への積極的な取り組みを実施しない限り、イーストサイドの電力システムの冗長性は失われ、6万人を超えるお客様に影響が及ぶ停電の確率が高まります。

## energizeEASTSIDE

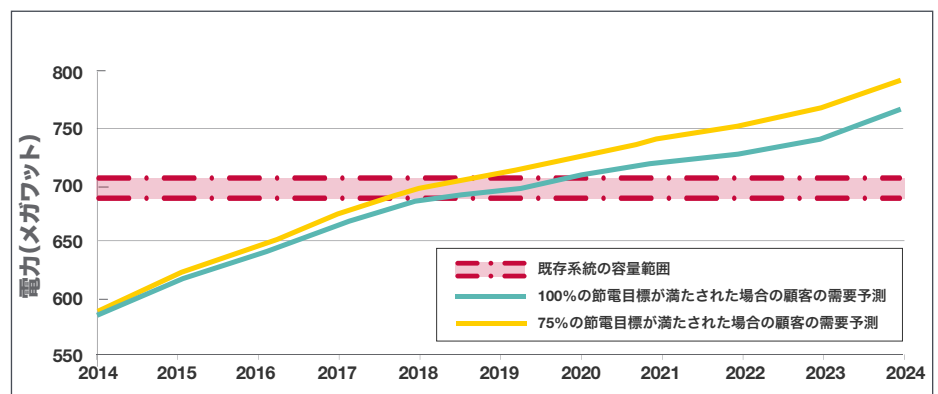
- 新しい変電所とレッドモンドからレントンまで約18マイル（29km）の送電線を建設
- イーストサイドの電力システムが地域の大規模な発展の一助となるよう取り組みを継続

### 最新情報

- PSEは地域諮問グループが提案したレイクサイド変電所とオークとウィローの2つの送電線配線経路についての追加分析とフィールドワークを実施
- 現在環境レビューを実施中、2017年から建設開始予定
- EISの詳細と市民の皆様がコメントを提供する方法については、[EnergizeEastsideEIS.org](http://EnergizeEastsideEIS.org)をご覧ください。

### イーストサイド顧客の需要予測

この図は、100%と75%の節電目標が満たされた場合の顧客の需要と現在の送電システムの容量を示しています。発展に関する調査によって、PSE顧客が100%の節電目標を満たしたとしても、2017～2018年冬までに需要は安定供給能力を超えると予測されています。



## 節電に取り組むだけでは、この課題に十分に対処不可能

過去30年間にわたり、Puget Sound Energy (PSE) は既存の電力システムを最大限に活用するために重要な対策を講じてきました。1979年以降、PSEはエネルギー効率および再生可能エネルギープログラムのために何百万ドルも費やしてきました。2012年には、改良された照明、機器および装置、さらなる耐風雨性、そしてエネルギー効率の良い建築技術を通じて、PSEのお客様は30,000世帯の家庭への電力供給に十分な量の節電に協力してくださいました。それでも、節電を行うだけでは十分ではありません。努力も限界に近づいてきました。イーストサイドはこの地域を賄う電力システムを超える発展を遂げたのです。

ここイーストサイドの経済と人口は、私たちの節電努力では到底追いつくことができないほど急速に成長を続けています。電力インフラに対する相当な改善を行わない限り、何万もの住民と企業が、より頻繁に長期的な停電のリスクにさらされます。

## PSEのEnergize Eastsideは、成長を遂げるイーストサイドにこれからも引き続き電力を供給

イーストサイドの増大するニーズに対応するため、PSEは独立した専門家と共に、既存の送電系統および様々なオプションについて独自の分析を多角的に実施してきました。



レントンで開かれたワークショップで、地図とデータを見ながら、各配線経路区間が現地にもたらす価値と懸念について話し合う地域のメンバー。

これらのプロジェクト関連レポートについては、ウェブサイト ([pse.com/energizeeastside](http://pse.com/energizeeastside)) をご覧ください。

PSEは、現地の発電施設の建設、地中送電線の設置、電池貯蔵やデマンドレスポンスのような新技術採用などの複数のオプションを吟味しました。しかし、地中送電線の設置には膨大な費用がかかるうえ（要請者による資金提供がない限り）、現地の環境では実施が非常に困難です。さらに新しい技術もニーズを満たすに足りない、または適切な規模での検証結果が存在しないと結論付けました。

総合的な検討の結果、増大するエネルギーのニーズに対応するために、引き続き節電に取り組みながら、新たな変電所と大容量送電線の設置によりインフラを改善するのが最善策であるという結論に達しました。新しい変電所は、現地の送電系統が増え続ける顧客のエネルギー使用量に対応してさらなる送電容量を提供する一方で、送電線によって、その追加の送電容量を最も必要としているイーストサイド地域に電力を確実に提供できるようにします。

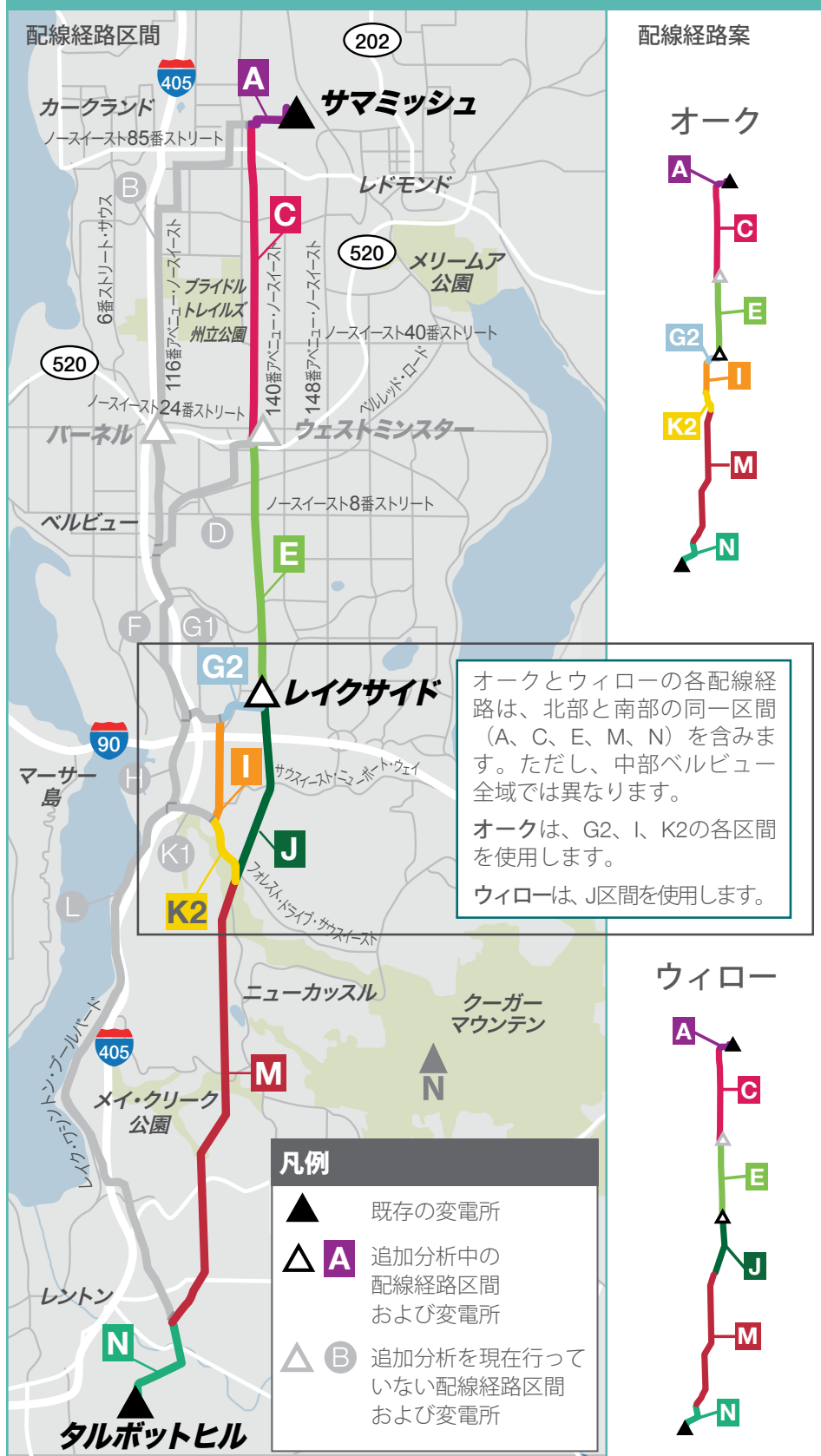
## 送電線配線経路案についての地域社会からの意見の収集

地域のさまざまな利害関係者からの意見を生み出す活発なフォーラムを提供するために、PSEはイーストサイド全域におけるさまざまな関心分野からの代表者24人で構成される地域諮問グループを招集しました。地域諮問グループの目標は、新しい送電線がどの配線経路に張られるべきかを評価することに関連して、地域にとっての価値を特定・評価できるようにし、またPSEの検討用に配線経路案を策定することでした。

地域諮問グループのプロセスは、市民集会、ワークショップ、状況説明会およびプロジェクトに関するやりとりを含む幅広い、継続的な地域へのアウトリーチによって補完されました。アウトリーチイベントで、地域の皆様は現在までの諮問グループのプロセスの結果について学び、フィードバックを提出しました。諮問グループは、その後の話し合いと配線経路の評価時に、そのフィードバックを考慮に入れました。

2014年12月10日に開かれた最後の会議で、地域諮問グループはPSEの検討用にオークとウィローの各配線経路を最終的な配線経路案として選定しました。この会議に参加した22人の諮問グループのメンバーと4人の自治会の代替要員のうち、20人が最終案を支持しました。

## 配線経路区間およびEnergize Eastsideが 現在評価中のオプション：2015年春



## 2015年における次の ステップ

1年間にわたる配線経路の公聴プロセスに続いて、PSEは地域諮問グループが提案したレイクサイド変電所とオークとウィローの2つの送電線配線経路（ページ3の地図を参照）についての追加分析とフィールドワークを行います。

### 環境レビュー

Energize Eastsideプロジェクトは現在、環境レビュー段階にあります。環境レビュープロセスは、カーランド、ニューカッスル、レッドモンド、およびレントン市による協力の下、ベルビュー市によって導かれ、それにはワシントン州環境政策法による環境影響評価書（EIS）の作成が含まれます。EISは、重大な環境影響についての公平な考察、合理的な代替案、そして悪影響を回避したり最小限に留めたりするための軽減策を提供します。

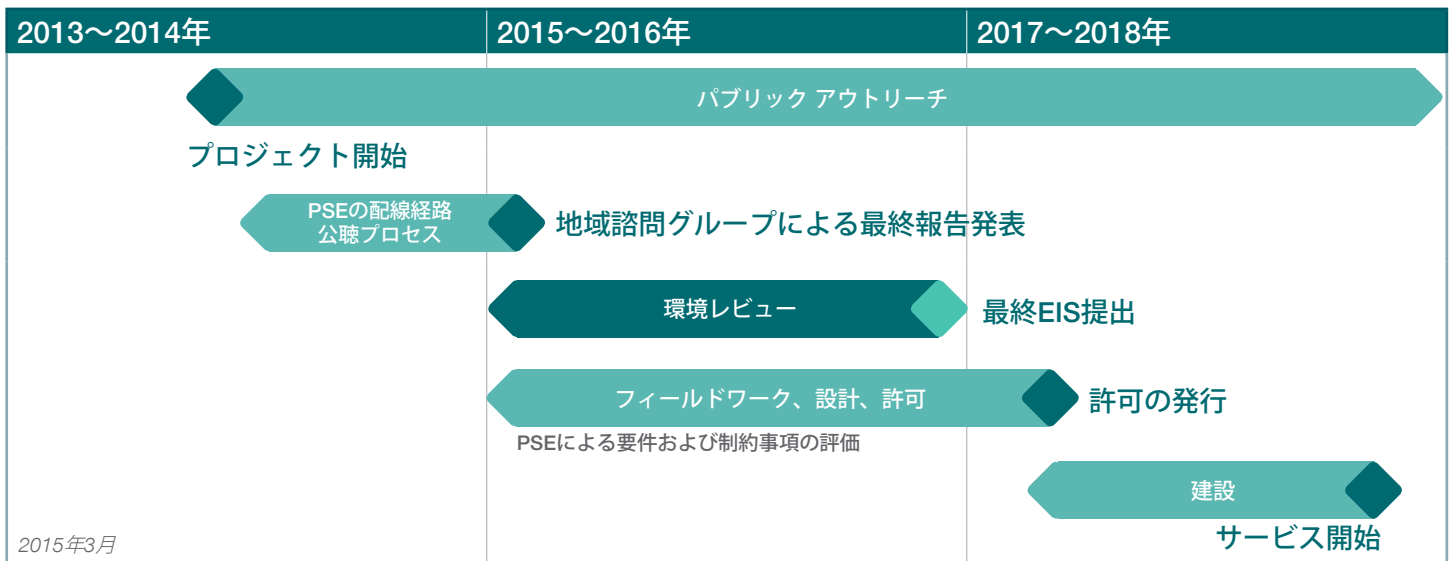
EISのプロセスには市民からコメントを募る機会も含まれます。EISのプロセスを通して、他の代替策が特定・検討される可能性もあります。EISの詳細と市民の皆様がコメントを提供する方法については、ウェブサイト [EnergizeEastsideEIS.org](http://EnergizeEastsideEIS.org) をご覧ください。

### フィールドワーク

PSEでは環境レビュープロセス、プロジェクトの設計、および将来の許可申請についてお伝えするためにフィールド情報を集めています。配線経路について追加情報を集めるために、PSEおよび弊社請負業者は、パイプラインの併置調査、湿地の概要確認、土地測量、樹木現況調査、歴史・文化財調査、地盤調査などのフィールドワーク活動を実施いたします。

PSEは、作業員が地域で作業を行う場合に、その不動産所有者、入居者、近所の方々に随時報告するよう取り組みます。また、作業の影響を受ける不動産所有者の皆様には事前通知を行うようにします。

## プロジェクトのスケジュール



### 設計

送電塔の高さ、仕上がり、その他の検討事項など、プロジェクトの設計に関してフィードバックを提供する方法についての詳細は後日お知らせいたします。設計のオプションを生み出し、それらを地域の皆様と共有するためには、フィールドデータを収集・確認し、柔軟に対応できる点を特定しなければなりません。これについては、プロジェクトチームが2015年中に取り組めます。

### 参加方法

EISの詳細と市民の皆様がコメントを提供する方法については、**EnergizeEastsideEIS.org**をご覧ください。

Energize Eastsideプロジェクトの背景情報について、またはインタラクティブマップ上で配線経路案を閲覧するには、プロジェクトのウェブサイト (**pse.com/energizeeastside**) をご覧ください。



「ベルビュー・ストロベリー・フェスティバル」にて、地域プロジェクト担当マネージャーのジャクソン・テイラー氏とEnergize Eastsideについて話し合うベルビュー市民。

Energize Eastsideに関心をお寄せいただき、ありがとうございます。

 [pse.com/energizeeastside](http://pse.com/energizeeastside)

 1-800-548-2614

 [energizeeastside@pse.com](mailto:energizeeastside@pse.com)



## energizeEASTSIDE よくある質問

### Energize Eastsideとは？

Energize Eastsideプロジェクトは、イーストサイドにおける家庭と企業にエネルギーを供給するための、新たな変電所と大容量送電線を設置するものです。この取り組みは既存の送電システムを改善し、イーストサイド地域全体に今後何年にもわたって安定した電力を供給します。

新しい変電所は、現地の送電システムが増え続ける顧客のエネルギー使用量に対応してさらなる送電容量を提供する一方で、送電線によって、その追加の送電容量を最も必要としているイーストサイド地域に電力を確実に提供できるようにします。送電線は既存のレッドモンドの変電所からレントンの変電所まで張られます。

### なぜこれが必要なのですか？

イーストサイドはワシントン州のどの地域よりも、急速な発展を遂げています。現在、レントンからレッドモンドまで、至る所で建設が行われ、交通渋滞が深刻化しているのを目にされていることでしょう。数々の世界的な企業がイーストサイドで事業を展開し、それにより雇用は拡大しています。

地域の発展は良いことですが、それによって既存の電力システムには負担がかかっています。地域発展に関する研究によって、安定した電力への需要は早くて2017年／2018年の冬に既存の容量を超えると予測されています。これによって停電が発生するわけではありませんが、電力インフラの大幅な改善と節電への積極的な取り組みを実施しない限り、イーストサイドの電力システムの冗長性は失われ、6万人を超えるお客様に影響が及ぶ停電の確率が高まります。

### 節電すればこのプロジェクトは必要なくなりますか？

過去30年間にわたり、Puget Sound Energy (PSE) は電力システムを最大限に活用するために重要な対策を講じてきました。2012年には、改良された照明、機器および装置、さらなる耐風雨性、そしてエネルギー効率の良い建築技術を通じて、PSEのお客様は30,000世帯の家庭への電力供給に十分な量の節電に協力してくださいました。このような節電への積極的な取り組みにもかかわらず、調査によって、需要が供給を大幅に上回りつつあることが示されています。

節電だけでは地域の発展に追いつくことはできません。

### energizeEASTSIDE

- 新しい変電所とレッドモンドからレントンまで約18マイル（29km）の送電線を建設
- イーストサイドの電力システムが地域の大規模な発展の一助となるよう取り組みを継続

#### 最新情報

- 地域諮問グループが最終的な配線経路案を選定
- PSEは地域諮問グループが提案したレイクサイド変電所とオークとウィローの2つの送電線配線経路についての追加分析とフィールドワークを実施
- 現在環境レビューを実施中、2017年から建設開始予定

## イーストサイドの電力のニーズに対応するための最善策は何ですか？

PSEのプランナーとエンジニアは、節電による需要の削減、既存の送電線容量の拡大、地域内発電および新しいインフラの建設など、イーストサイドで高まるエネルギーのニーズに対応する方法を多角的に分析しました。総合的な審議の後、PSEと独立専門家は、増大するエネルギーのニーズに確実に対応するためには、引き続き節電に取り組みながら、変電所と大容量送電線の新規設置により、インフラを改善するのが最善の方法であるという結論を導きました。

## PSEはどのようにして新しい送電線の配線経路のオプションを開発したのですか？

PSEのエンジニアと第三者の専門家は、イーストサイドのエネルギーのニーズに対応可能と想定される変電所の設置場所と送電線の配線経路案を特定しました。ほとんどの送電線の配線経路には既存の115 kVの送電線が設置されています。配線経路のオプションを考案するにあたり、地理および土地利用などの様々な要素が考慮されました。

PSEは、コンピューターベースの経路評価における業界のリーダーと委託契約を締結し、地形や環境保全特別地域などの地理情報システム（GIS）データを収集し分析しました。GISの特徴を機会および制約に分類して、コンピューターモデルにより最適なバランスを特定しました。モデルにより16件の配線経路区間も特定され、エンジニアが建設

可能であることを確認しました。この区間は、地域諮問グループによって評価された配線経路のオプション18件で構成されています。

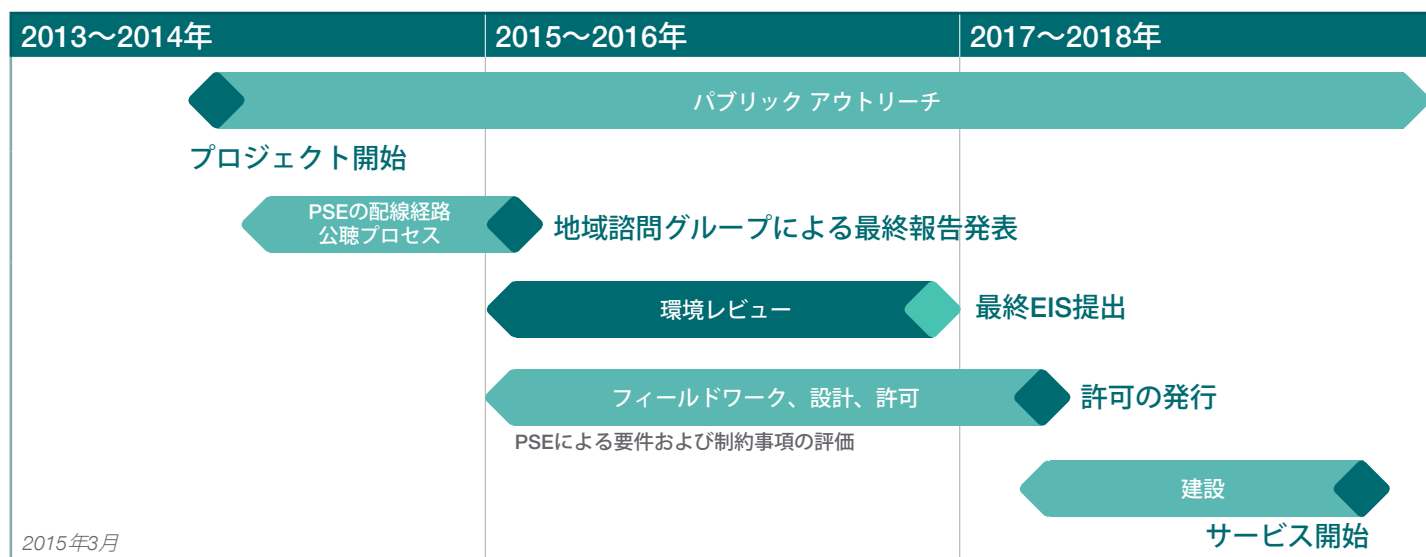
## 市民はどのようにプロジェクトに携っていますか？

地域のさまざまな利害関係者からの意見を生み出す活発なフォーラムを提供するために、PSEはイーストサイド全域におけるさまざまな関心分野からの代表者24人で構成される地域諮問グループを招集しました。地域諮問グループの目標は、新しい送電線がどの配線経路に張られるべきかを評価することに関連して、地域にとっての価値を特定・評価できるようにし、またPSEの検討用に配線経路案を策定することでした。

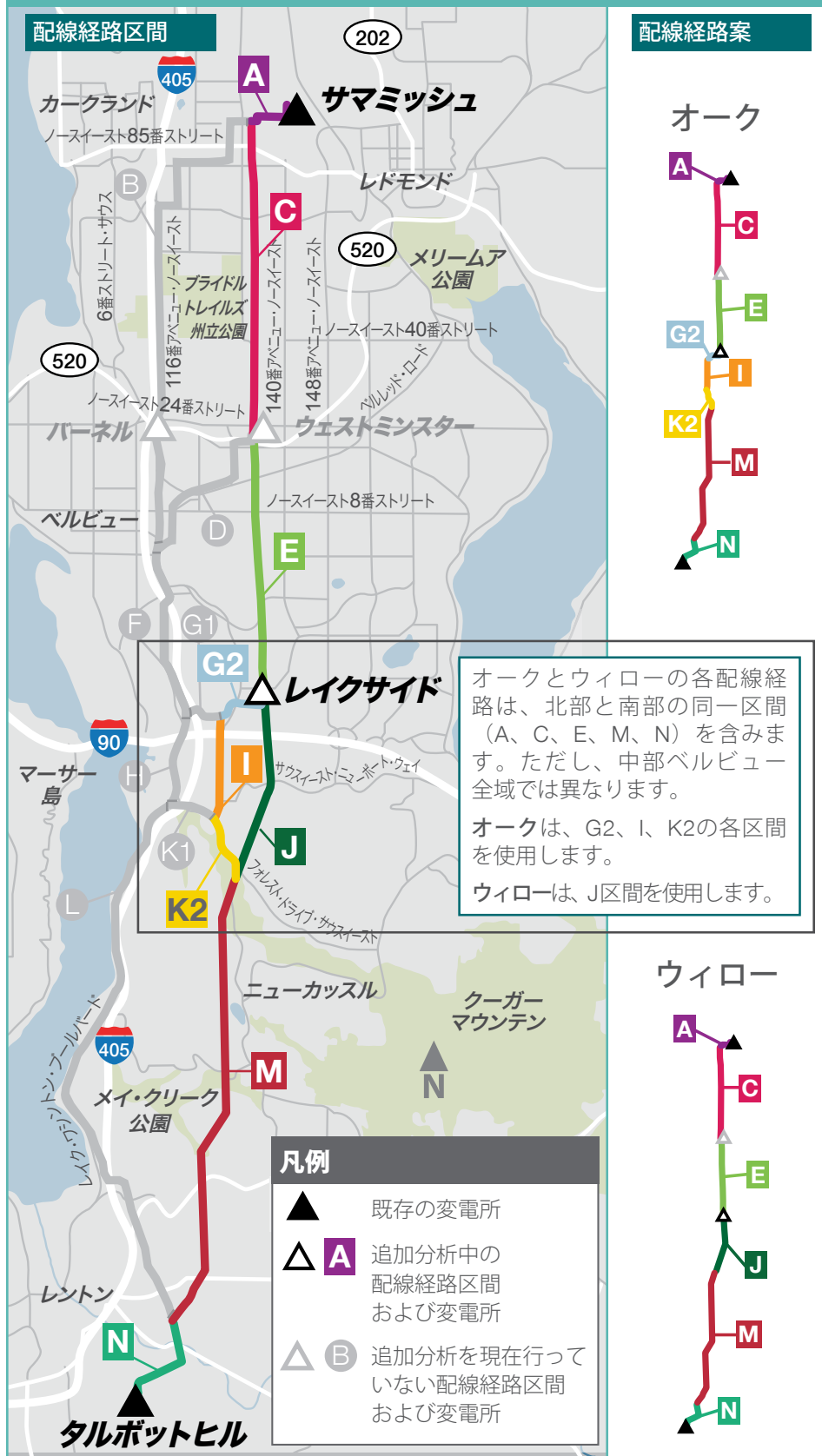
諮問グループは、会議やワークショップに参加したり、PSEによって特定された18件の配線経路案を評価したりすることで、1年かけてイーストサイドの電気系統について学びました。諮問グループは2014年12月10日にその作業を終え、PSEの検討用にオークとウィローの各配線経路を最終的な配線経路案として選定しました。

地域諮問グループのプロセスは、市民集会、ワークショップ、状況説明会およびプロジェクトに関するやりとりを含む幅広い、継続的な地域へのアウトリーチによって補完されました。アウトリーチイベントで、地域の皆様は現在までの諮問グループのプロセスの結果について学び、フィードバックを提出しました。諮問グループは、その後の話し合いと配線経路の評価時に、そのフィードバックを考慮に入れました。

## プロジェクトのスケジュール



## 配線経路区間およびEnergize Eastsideが 現在評価中のオプション：2015年春



## どの配線経路が 検討されていますか？

1年間にわたる配線経路の公聴プロセスに続いて、PSEは地域諮問グループが提案したレイクサイド変電所とオークとウィローの2つの送電線配線経路（ページ3の地図を参照）についての追加分析とフィールドワークを行います。オークとウィローの各配線経路は、北部と南部の同一区間（A、C、E、M、N）を含みます。ただし、中部ベルビュー全域では異なります。オークは、G2、I、K2の各区間を使用します。ウィローは、J区間を使用します。

## 2015年における、この プロジェクトの次のステ ップは何ですか？

### 環境レビュー

Energize Eastsideプロジェクトは現在、環境レビュー段階にあります。環境レビュープロセスは、カーランド、ニューカッスル、レッドモンド、およびレントン市による協力の下、ベルビュー市によって導かれ、それにはワシントン州環境政策法による環境影響評価書（EIS）の作成が含まれます。EISは、重大な環境影響についての公平な考察、合理的な代替案、そして悪影響を回避したり最小限に留めたりするための軽減策を提供します。

EISのプロセスには市民からコメントを募る機会も含まれます。EISのプロセスを通して、他の代替策が特定・検討される可能性もあります。EISの詳細と市民の皆様がコメントを提供する方法については、[EnergizeEastsideEIS.org](http://EnergizeEastsideEIS.org)をご覧ください。

### フィールドワーク

PSEでは環境レビュープロセス、プロジェクトの設計、および将来の許可申請についてお伝えするためにフィールド情報を集めています。配線経路について追加情報を集めるために、PSEおよび弊社請負業者は、パイプラインの併置調査、湿地の概要確認、土地測量、樹木現況調査、

歴史・文化財調査、地盤調査などのフィールドワーク活動を実施いたします。

PSEは、作業員が地域で作業を行う場合に、その不動産所有者、入居者、近所の方々に随時報告するよう取り組みます。また、作業の影響を受ける不動産所有者の皆様には事前通知を行うようにします。

## 設計

送電塔の高さ、仕上がり、その他の検討事項など、プロジェクトの設計に関してフィードバックを提供する方法についての詳細は後日お知らせいたします。設計のオプションを生み出し、それらを地域の皆様と共有するためには、フィールドデータを収集・確認し、柔軟に対応できる点を特定しなければなりません。これについては、プロジェクトチームが2015年中に取り組みます。

## PSEは地中に送電線を設置することはできますか？

地中に送電線を設置することは可能です。しかし顧客にとって重要な信頼性とコストの妥当性という2つの側面から、架空送電線の設置がPSEにとっての第一の選択肢と考えています。送電線の地中設置は実行可能なオプションではありますが、その最大の問題はコストです。

架空送電線の設置に必要な建設費が1マイルあたり約300万～400万ドルであるのに対し、地中送電線の設置に必要な建設費は1マイルあたり2000万～2800万ドルです。

新しい架空送電線が建設される場合、PSEの110万人の顧客全員がプロジェクト費用を均等に分担し、長い時間をかけて支払いを行います。地中送電線が建設される場合、費用増分が大幅に発生しますが、電力供給地域の顧客の皆様が増分を負担することを妥当と考えておりません。

そのため、州で認められている関税規則に基づき、通常は現地の管轄区域である要請者が、この投資を行うか否かを最終的に決定しなければなりません。その後、要請者は架空送電線と地中送電線の設置費用の差額を支払う責任があります。

費用に加え、地中送電線の設置には、環境および地域への影響などの考慮すべきその他の要素があります。

- 地中送電線の設置には幅30～50フィート（9～15.2メートル）分の地役権が必要となり、架空送電線とは異なり、そこからは草木が完全に取り除かれる必要があります。

- 地中送電線の設置には4分の1マイル（400メートル）毎に巨大な（20フィート（6メートル）×30フィート（9メートル））洞道の設置が必要となり、近隣住民や環境に悪影響を及ぼしかねません。
- また、地中送電線の修理自体もより困難で時間がかかります。架空送電線は数時間または数日以内に修理することができますが、地中送電線の修理には何日も、また何週間もかかる場合があります。

## このプロジェクトにはいくらがかかりますか？

プロジェクトの総費用はまだ明確に算定されていませんが、1億5000万～3億ドルになるとの見積もりが出ています。一世帯の電気代の請求額は平均で1か月あたり1～2ドル増加すると予想されます。最終設計および配列を決定した後、より正確な総費用の見積もりを提供できます。

## 電磁場（EMF）についてはどうですか？

電磁場（EMF）は家庭の配線、家電製品、コンピューターまたは電源など、電気の通っている場所であればどこにも存在します。過去45年間、EMFが人間の健康に何らかの影響を与えるのかを明らかにするために、多くの科学的研究が実施されてきました。現在提示されている証拠では、EMFへの曝露による人体への影響を決定付けるには至らないと科学コミュニティは結論付けています。

PSEでは、安全は常に最優先事項であるため、私たちはお客様に必要な情報を絶えず提供することに努めています。PSEは、EMFについて詳しく説明することが必須と心得ております。EMFに関するより具体的な質問にお答えするため、保健物理学者（独立かつ有資格者）のドリュー・サッチャー（Drew Thatcher）を採用しました。ご質問がある方は、Energize Eastsideチームまでご連絡ください。サッチャー氏が詳しく回答いたします。

## 参加方法

EISの詳細と市民の皆様がコメントを提供する方法については、**EnergizeEastsideEIS.org**をご覧ください。

Energize Eastsideプロジェクトの背景情報について、またはインタラクティブマップ上で配線経路案を閲覧するには、プロジェクトのウェブサイト（**pse.com/energizeeastside**）をご覧ください。

Energize Eastsideに関心をお寄せいただき、ありがとうございます。

 [pse.com/energizeeastside](http://pse.com/energizeeastside)

 1-800-548-2614

 [energizeeastside@pse.com](mailto:energizeeastside@pse.com)



## energizeEASTSIDE フィールドワーク概要書

### Energize Eastsideとは？

Energize Eastsideプロジェクトは、イーストサイドにおける家庭と企業にエネルギーを供給するための、新たな変電所と大容量送電線を設置するものです。この取り組みにより、既存の送電系統を改善し、イーストサイド地域全体に、将来長期にわたり、より安定した電力を供給いたします。



新しい230kV  
変電所と  
変圧器



新たな大容量の  
送電線



継続的な  
節電



**Energize Eastside**  
将来の長期的な  
電力の安定供給

### フィールドワークとは？

フィールドワークとは、特定区域の現場特性を調べるために、Puget Sound Energy (PSE) の作業員と業界専門家が行うさまざまな調査のことです。

### フィールドワークが必要な理由

1年間にわたる配線経路の公聴プロセスに続いて、PSEは現在、Energize Eastsideプロジェクトの環境レビュープロセス、プロジェクト設計、今後の許可申請について報告するために、現地情報の収集を行っております。2015年を通じて、PSEおよび弊社請負業者は、プロジェクト区域内で調査を行う予定です。

配線経路案について追加情報を集めるために、PSEおよび弊社請負業者は、パイプラインのコロケーション調査、湿地の概要確認、土地測量、森林インベントリ、歴史・文化財調査、地盤調査などのフィールドワーク活動を実施いたします。

このフィールドワークで集められたデータは、配線経路区間案の詳細評価、利用可能な柱の場所や種類の特定、環境への潜在的影響の把握、そして影響の軽減オプションの検討に役立ちます。

### フィールドワークのスケジュール

プロジェクトのフィールドワーク段階は2015年初めに開始され、年末まで続く見通しです。フィールドワーク活動に予定されているスケジュールの詳細については、プロジェクトウェブサイト [pse.com/energizeeastside](http://pse.com/energizeeastside) をご覧ください。

### フィールドワーク実施場所

フィールドワーク活動は、オークおよびウィローの配線経路に沿って行われる予定です（配線経路区間および現在評価中のオプションについては地図をご覧ください）。このフィールドワークには、既存の公共設備地役権を伴うPSEの既存経路沿いにある不動産、および公共権利通路での作業が含まれます。PSEが、既存地役権のない不動産を調査する必要がある場合は、不動産所有者および入居者と直接交渉して、当該不動産への出入許可を取得いたします。

PSEでは、各配線経路区間沿いにある不動産について、さまざまなフィールドワークを行う予定です。ただし、プロジェクト区域の場所によって、一部調査は不要になることもあります。

## 2015年春のフィールドワークの種類\*

### 土地測量 (2015年末まで)

土地測量により、土地の境界線、側道、縁石、側溝、私道、柵、建物の角、地下と頭上の公共設備の正確な位置を特定できます。この情報を用いて、PSEのエンジニアが、見込まれるセットバックの距離を判断し、新たな送電網の設置候補位置を特定いたします。

調査員は、調査のために旗竿を用いることがあります。場合によっては、調査作業の便宜を図るために、調査員がペンキを使って地面に印を付けることもあります。

### 湿地の概要確認 (2015年春)

この調査では、環境保護指定区域 (例: 湿地、水路、氾濫原) の位置と境界線を確認することにより、PSEエンジニアによる柱設置場所案の特定を支援します。収集されたデータは、環境レビューや許可に関する作業にも役立ちます。

環境専門家が敷地を歩いて、環境保護指定区域の物理的属性を特定、分類、記録いたします。湿地が存在する可能性がある場合は、作業員が1つまたは複数の浅い穴 (通常は、直径1フィート (約30.5cm)、深さ1.5フィート (約16cm) 未満) を掘って土壌条件を評価いたします。作業員は、現場を去る前に穴を埋め戻します。作業員は、携帯GPS機器を使って結果を記録いたします。

### 森林インベントリ (2015年春)

作業員は、配線経路案上または付近の森林インベントリを完了し、木の高さ、直径、種類のデータを収集いたします。PSEは、PSE植生管理規格に従って安全な作業条件を維持するために、この情報を用いて刈り込みや伐採が必要な木を判断いたします。

森林インベントリ作業員は敷地を歩いて調査を行い、集計補助用の小さなアルミ製仮札と小旗を使って木の情報を記録いたします。この後で、土地測量作業員が木の位置を記録いたします。印の付いた木が、必ずしも刈り込みや伐採が必要な木という意味ではありません。

PSEと請負業者は現在、オーク、ウィローの各配線経路の現地情報を収集中です。PSEは、今後、調査区間を増やす場合があります。



\*フィールドワークの時期は変わる場合があります。

## よくある質問

### 自分の不動産でフィールドワークが行われるかどうかは、どうすれば分かりますか？

フィールドワークが実施されるのは、PSE既存地役権またはその他の出入権のある敷地に限られます。PSEが、既存地役権のない不動産を調査する必要がある場合は、不動産所有者および入居者と直接交渉して、当該不動産への出入許可を取得いたします。PSEは、作業員が不動産に出入りする前に、すべての不動産所有者および入居者の皆様に通知いたします。

### 自分の不動産にフィールドワークが入る場合、それは、新しい送電線が近くに設置されることを意味するのでしょうか？

必ずしもそういうわけではありません。PSEは、フィールドワークデータ、設計などの要素を評価するまで、正確な配線経路の詳細を決定できません。配線経路特定作業の際に、地域の皆様に逐次報告を続けてまいります。

### フィールドワークが、私の敷地で予定されています。フィールドワークはいつ実施されますか？

2015年を通してフィールドワーク活動を実施する予定です。PSEおよび弊社請負業者は、フィールドワークを月曜日～金曜日、通常は午前8時～午後5時の間に行います。各調査の日程は配線経路区間によって異なります。区間別のフィールドワーク日程概要は、弊社ウェブサイト [pse.com/energizeeastside](http://pse.com/energizeeastside) に掲載しております。

PSEは、該当地域で予定されている活動について、不動産所有者、入居者、近隣住民の皆様に逐次報告するべく、3カ月ごとにフィールドワークの最新情報をお知らせいたします。また、該当する不動産所有者および入居者の皆様には、作業員が敷地に入出入りする数日前に通知いたします。

敷地内でフィールドワークが実施される日には、作業員が各戸を訪問して、作業を行う旨をお知らせします。コンドミニアムおよびアパートについては、フィールドワーク活動予定の通知については、住宅所有者組合および不動産管理者に協力していただきます。

### 作業員は、どのようにして見分けられますか？

弊社の現場作業員は、PSE請負業者であること、および調査実施許可を取得していることの証明書を携行します。作業員は、作業中は自分の作業車を運転しています。

### 作業員が私の敷地に来る際に自分が不在の場合はどうするのですか？

PSEおよび弊社請負業者は、敷地出入り前に各戸を訪問します。ご不在の場合、作業員は予定どおり調査を行います。

### フィールドワーク中に不動産に損害が発生した場合はどうなりますか？

PSEにおいては、物的損害の発生は懸念しておりません。万一、物的損害が発生した場合は、弊社はおお客様のご協力のもと、担当請負業者のクレーム処理手続きに従って損害を修復いたします。

## 将来のフィールドワーク

### 歴史・文化財調査

この調査では、歴史・文化財を特定いたします。地域の歴史・文化財の例としては、橋、建造物、由緒あるキャンプ場などがあります。収集された情報は、プロジェクトにおける環境レビューや許可に関する作業にも役立ちます。

この調査では、考古学者や歴史専門家が歴史・文化財の存在する可能性を評価いたします。この作業では、地中の状態を評価するため、1つまたは複数の浅い穴を掘る場合があります。この穴は、作業員が現場を立ち去る前に埋め戻されます。

この作業を行わない敷地もあります。PSEは、歴史・文化財調査開始前に、該当する不動産の各所有者に連絡いたします。

### 地盤調査

地盤調査は、柱の設置候補場所およびその周囲の土壌型を特定するものです。ある種の土壌は、ほかの土壌よりも柱の基礎としての条件が優れています。土壌型を理解すると、基礎の設計および送電線を支える構造に生かすことができます。作業員が小さなボーリング孔を掘りますが、この孔は、作業員が現地を立ち去る前に埋め戻して整地されます。

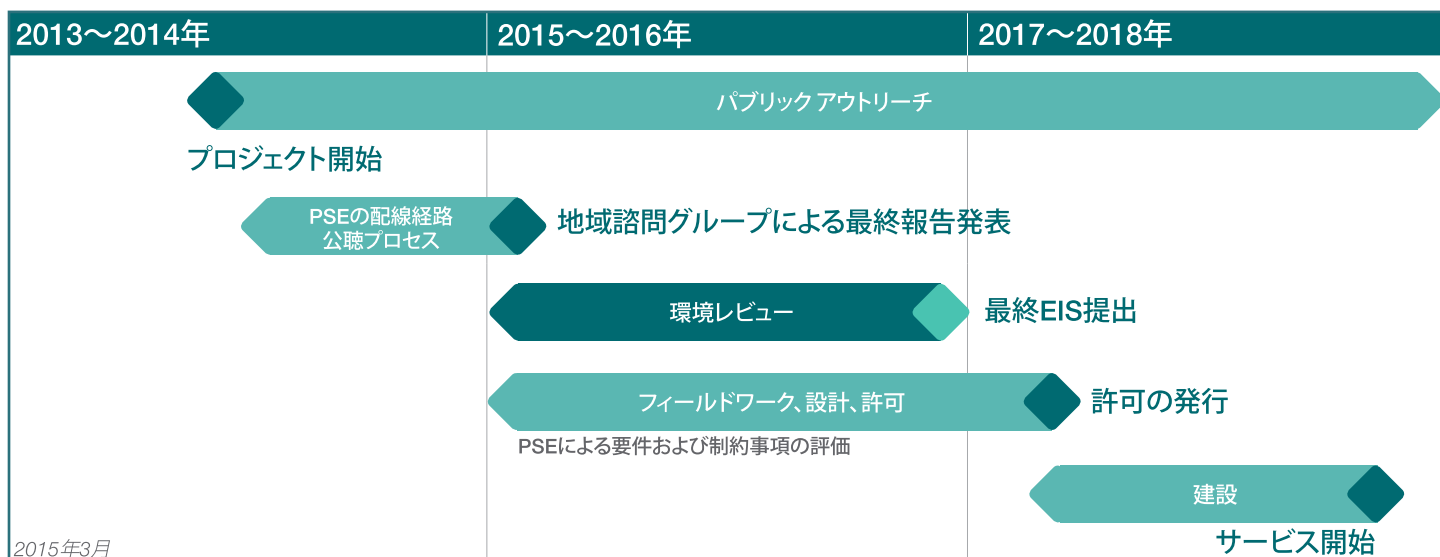
この作業を行わない敷地もあります。PSEは、地盤調査開始前に、該当する不動産の各所有者に連絡いたします。

## 完了済みのフィールドワーク

### パイプラインのコロケーション調査

この調査は、オリンピックパイプラインに隣接する場所に新たな電柱を配置できるかを、PSEが判断するために実施されました。PSEが将来設置する可能性のある電柱と、オリンピックパイプラインの既存設備の安全なコロケーションを確保するために、作業員が土壌を検査いたしました。

## プロジェクトのスケジュール



### 不動産所有者および 入居者に逐次報告

PSEは、不動産所有者、入居者、近隣住民の皆様へ情報を逐次提供することに努めております。地域で予定されている活動について、フィールドワークの最新情報を3カ月ごとにお知らせいたします。

フィールドワークが行われる敷地については、不動産所有者や入居者の皆様に予定されている作業をお知らせするために、敷地に入る数日前に作業員が各戸に通知を配布いたします。


敷地内でフィールドワークが実施される日には、作業員が各戸を訪問して、作業を行う旨をお知らせいたします。 condominiumおよびアパートについては、フィールドワーク活動予定の通知については、住宅所有者組合および不動産管理者に協力していただきます。

弊社は引き続き、プロジェクト進捗状況を地域の皆様に逐次報告してまいります。



Engize Eastsideにご関心をお寄せいただき、ありがとうございます。

 [pse.com/energizeeastside](http://pse.com/energizeeastside)

 1-800-548-2614

 [energizeeastside@pse.com](mailto:energizeeastside@pse.com)